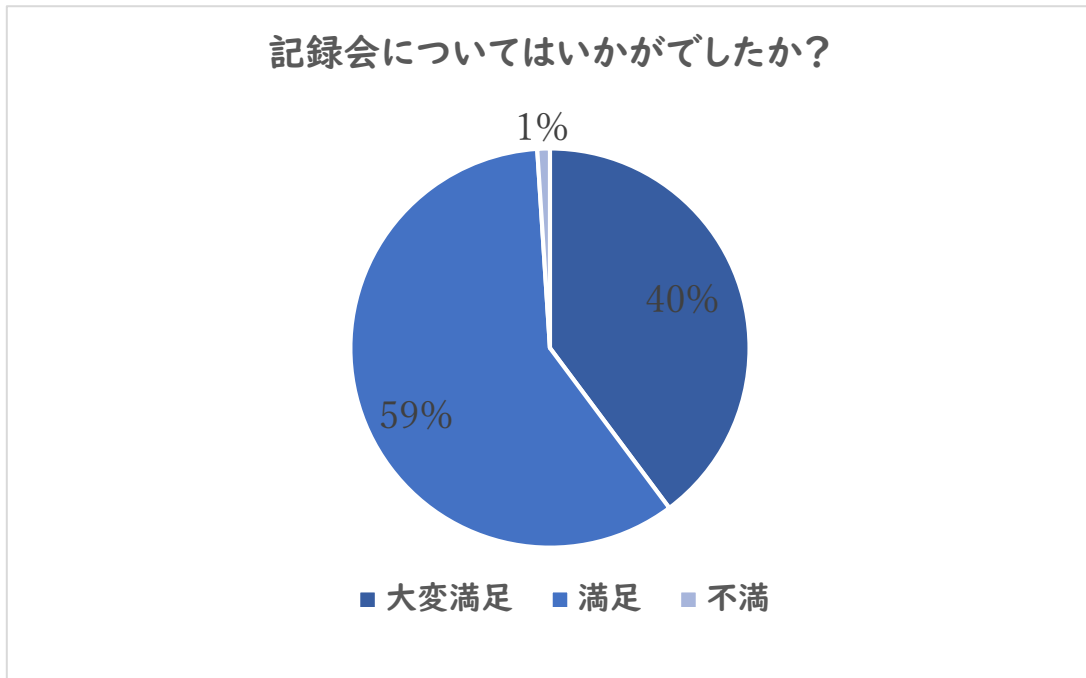


# 持久走記録会についてのアンケート結果

先日の持久走記録会では、多くの保護者の方にお越しいただくとともに、101名の方にアンケートに御協力いただきまして、ありがとうございました。回答いただいたアンケートの結果をお知らせいたします。(記述欄は一部抜粋あり)



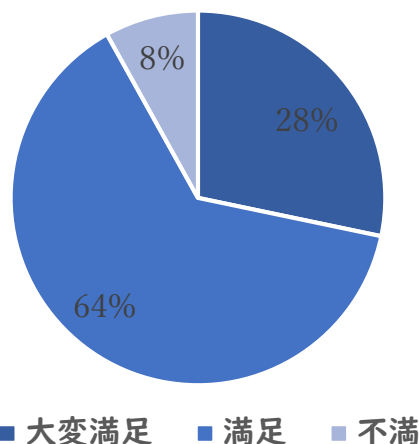
張り切っている子も、走りたくない子も、みんな頑張って完走していました。先生が寄り添って声かけしていたり、子どもどうして応援している姿に感動しました。

本番は目標にあと1秒足りず、悔しがっていましたが、全力で挑めたので満足しているようです。頑張っていた多くのお友達について賞賛もしており、持久走を通じて他者の頑張りを認め、自分事のように喜んでいる姿が嬉しかったです。

みんな一生懸命に走っていて、走る順番を待っている子供たちのペースが遅れている子への応援の声も聞こえてきて思い合っている姿にほっこりしました。

運動が苦手な娘ですが、楽しかったとのこと。意外な感想に親としても驚き！精神的にも鍛えられていたのではないのでしょうか。

## 会場や運営については、いかがでしたか？



実施日が年間行事と異なっていたので、見学に行くために仕事の日を直前になって調整することになり、困りました。

男女別に走らせて欲しい。  
やはり女の子だって一位になりたい。学年が上になるにつれやはり男女の力に差がでる

他校では持久走大会をやらなくなっている学校も増えてますが、楽しみにしている、また目標に頑張っている児童もいるのでこのまま継続して下さい。

砂場の前の部分が狭くなっていて、スタートしてすぐのまだ団子状態の時は転ばないか不安でした。狭くしかコースが取れないのであれば、スタートの位置をずらしてある程度バラけてからその場所を通るぐらいにする必要があるのではないかと思いました。

持久走をやるのは健康作りのためによいと思うが、ここまでグループ分けして、順位をださなくてもいいのではないかと思う。授業の中でやる程度でいいと思う。

アンケートの御協力ありがとうございました。

記録会については、「児童の頑張る姿を見られてよかった。」という声を多くいただきました。また、保護者の方の応援が児童の力になっていたと思います。応援ありがとうございました。

運営面については、保護者の方の記述欄にもある通り、最近は持久走記録会を行わない学校が増えてきています。大きな事故につながる可能性があることや、小学校での指導内容と記録会の内容にズレが見られること等がその理由です。(学習指導要領では、『一定の速さでのかけ足』は無理のない速さで低学年は2～3分、中学年は3～4分、高学年は5～6分程度と表記されています)

今回いただいた保護者の方の意見も参考にしながら、来年度の実施の仕方を検討していきたいと思います。